

製品安全データシート

1, 化学物質等及び会社情報

会社名 武藤化学株式会社
本社住所 〒113-0033 東京都文京区本郷2-10-7
電話番号 03-3814-5511 FAX番号 03-3815-4832
担当部門 学術部
作成・改定日 2016年9月1日

製品名 ライト染色液A

2, 危険有害性の要約

GHS分類： 引火性液体：区分2
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性：区分2A
急性毒性：経口：区分5
生殖毒性：区分1B
特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）：区分1（中枢神経系、視覚器、全身毒性）
特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）：区分3（気道刺激性）
特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）：区分3（麻酔作用）
特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）：区分1（中枢神経系、視覚器）

GHSラベル要素：GHS絵表示



危険有害性情報： 引火性の高い液体及び蒸気
強い眼刺激
飲み込むと有害のおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
臓器の障害(中枢神経系、視覚器、全身毒性)
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
長期又は反復暴露による臓器の障害(中枢神経系、視覚器)
注意書き

1. 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
2. 容器から出し入れするときは、こぼれないようにして下さい。
3. 取扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じ防毒マスク又は送気マスク、保護手袋等を着用して下さい。
4. 取扱い後は、手洗いを十分行って下さい。
5. 一定の場所を定めて貯蔵して下さい。

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

有害性

◇吸入した場合…

1. 上気道を刺激する。
2. 中枢神経を侵す（発育毒性あり）。
3. 頭痛、めまい、嘔吐、下痢をおこす。
4. 大量に吸入した場合、麻痺状態になり視神経が侵され失明する。

◇皮膚に触れた場合…

1. 吸収される可能性あり。
2. 皮膚の乾燥、発赤。

◇眼に入った場合…

1. 眼を刺激する。発赤、痛み。
2. 視神経に障害をおこし失明することがある。

◇飲み込んだ場合…

1. 腹痛、息切れ、意識喪失、嘔吐（さらには「吸入」参照）。

3, 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合製品

含有成分

化学名	エオシンY	メチレンブルー	アズールB	メタノール
含有量	約0.3%	約0.2%	約0.4%	約99.1%
化学式	C ₂₀ H ₆ B _r ₄ N _a ₂ O ₅	C ₁₆ H ₁₈ N ₃ S _C ₁	C ₁₅ H ₁₆ N ₃ SC ₁	CH ₃ OH
官報公示整理番号				2-201
(化審法)				
(安衛法)				(安衛法)
CAS No.	17372-87-1	61-73-4	531-55-5	67-56-1

4, 応急措置

眼に入った場合

1. 数分間多量の水で洗い流す（できればコンタクトレンズをはずして）。
2. 医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

1. 汚染された衣服や靴を脱がせる。
2. 多量の水かシャワーで皮膚を洗い流す。
3. 医師の診断を受ける。

吸入した場合

1. 新鮮な場所に移し、安静、保温する。
2. 医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

1. 吐かせる（意識がある場合のみ）。
2. 医療機関に連絡。

5, 火災時の措置

消火方法

◇消火要領…

1. 初期消火として粉末、二酸化炭素、粉末消火設備器具で消火する。
2. 耐アルコール泡で一挙に消火する。
3. 少量の場合は、噴霧注水で消火可能である。

◇消防活動装備…

1. 防火服。
2. 耐熱服。
3. 防護衣。
4. 空気呼吸器。
5. 循環式酸素呼吸器。
6. ゴム手袋。
7. 革手袋。
8. ゴム長靴。

◇消火剤…

1. 耐アルコール泡、二酸化炭素、粉末消火薬剤。

6, 漏出時の措置

1. 警戒筒先を配備する。
2. 蒸気発生が多い場合は、噴霧注水により蒸気発生を抑制する。
3. 大量の流出は、土砂等で流出拡大防止を図り回収する。
4. 少量の流出は、大量の水で希釈洗浄する。

5. 危険区域から立ち退く。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

1. 裸火禁止、火花禁止。
2. 酸化剤との接触禁止。
3. 密閉、換気。
4. 防爆型の電気装置と照明を使用。
5. 防爆用工具を使用。
6. 作業中は飲食、喫煙をしない。

保管

1. 耐火構造。
2. 強酸化剤から離しておく。
3. 冷所。

8. 暴露防止及び保護措置

◇安全管理上の留意事項…

1. 火気厳禁とする。
2. アルコールの炎は、青白く見えにくいので注意が必要である。
(メタノール)

管理濃度：200ppm

許容濃度

ACGIH (93年～94年)

TLV-TWA：200ppm (皮) , 262mg/m³ (皮)

TLV-STEL：250ppm (皮) , 328mg/m³ (皮)

日本産業衛生学会勧告値 (94年)：200ppm (皮) , 260mg/m³ (皮)

OSHA PEL TWA：200ppm, 260mg/m³

NIOSH REL TWA：200ppm

MSHA TWA：200ppm (皮) , 260mg/m³ (皮)

設備対策

1. 換気。
2. 局所排気

◇安全管理・ガスの検知…

1. 測定器：酸欠空気危険性ガス測定器、可燃性ガス警報器、ガス検知器。

保護具

1. 呼吸用保護具。

2. 保護手袋。
3. 保護衣。
4. 安全ゴーグルまたは呼吸用保護具と眼用保護具の併用。

9, 物理的及び化学的性質

外観等

1. 青紫色、可燃性液体

(メタノールについて)

蒸気圧：12.3kPa (20℃)

相対蒸気密度 (空気=1)：1.1、20℃での蒸気/空気混合気体の相対密度 (空気=1)：1.01

log Pow (オクタノール/水分配係数)：-0.82 / -0.66。

沸点：64.7℃

融点：-96℃；-94℃

引火点：11℃；12℃ (C.C.)

発火点：385℃

爆発範囲：6～35.6vol% (空气中)

比重又は嵩比重：0.7928以下 (20/4℃)

溶解度

1. 水、アルコール類、エーテルに溶ける。

10, 安定性及び反応性

◇加熱・燃焼…

危険性有

1. 加熱により引火又は発火することがある。
2. 加熱により容器が爆発する。
3. 加熱すると分解し、一酸化炭素、ホルムアルデヒドを生じる。

◇空気との接触…

危険性有

1. 蒸気は空気と混合し、引火爆発の危険がある。

◇混触等…

危険性有

1. 過塩素酸、過マンガン酸等の酸化剤と接すると爆発することがある。
2. 過酸化水素と混触したものは、衝撃により爆発する。
3. 酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
4. 鉛、アルミニウムを侵す。

11, 有害性情報

◇皮膚に触れた場合…

1. 吸収される可能性あり。
2. 皮膚の乾燥、発赤。

◇眼に入った場合…

1. 眼を刺激する。発赤、痛み。
2. 視神経に障害をおこし失明することがある。

◇吸入した場合…

1. 上気道を刺激する。
2. 中枢神経を侵す（発育毒性あり）。
3. 頭痛、めまい、嘔吐、下痢をおこす。
4. 大量に吸入した場合、麻痺状態になり視神経が侵され失明する。

刺激性

（メタノールについて）

ラビット 20mg/24H ; MODERATE（皮膚）

ラビット 40mg ; MODERATE（眼）, 100mg/24H ; MODERATE（眼）

急性毒性（RTECS）

◇吸入毒性…

マウス LCLo 50g/m³/2H

ラット LC50 64,000ppm/4H

ヒト TCLo 86,000mg/m³, TCLo 300ppm

◇経口毒性…

マウス LD50 7,300mg/kg

ラット LD50 5,628mg/kg

ヒト LDLo 428mg/kg, LDLo 143mg/kg

男性 LDLo 6,422mg/kg

◇経皮毒性…

ラビット LD50 15,800mg/kg

変異原性

微生物；酵母（-S9）；陽性

染色体異常；マウス（生体外・経口）；陽性

12, 環境影響情報

生態影響

（メタノールについて）

ファットヘッドミノー LC50(96hrs) ; 28,100mg/L

bleak LC50(96hrs) ; >1,000mg/L

ミジンコ LC50(96hrs) ; >100mg/L

分解性・濃縮性

微生物等による分解性が良好と判断される物質。

水生生物や陸生生物に対しては低毒性である。

13, 廃棄上の注意

1. 燃焼法：ケイ藻土等に吸収させ開放型の焼却炉で焼却する。または、焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。
2. 活性汚泥法。
3. 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に依頼する。

14, 輸送上の注意

1. 漏洩及び火気に十分注意し慎重に運搬する。

国連分類：クラス3.2（中引火点引火性液体） 等級Ⅱ

国連番号：1230（メタノール）

15, 適用法令

◇労働安全衛生法：

法第57条の2 通知対象有害物（施行令、別表第九の番号）：558（メタノール）

施行令別表第1危険物（引火性の物）

施行令第18条名称等を表示すべき有害物（メタノール及びこれを含有する製剤その他のもの。ただし含有量5%以下のものを除く）

施行令別表第6の2有機溶剤（第2種有機溶剤）

有機溶剤中毒予防規則；第2種有機溶剤

◇消防法：第2条危険物第4類アルコール類（400L）

◇P R T R法：非該当

◇大気汚染防止法：施行令第10条特定物質

◇海洋汚染防止法：施行令別表第1有害液体物質（D類）

◇危規則：第3条危険物告示別表第5引火性液体類Hi上・下/上等級2

◇航空法：施行規則第194条危険物告示別表第3引火性液体Gg等級2

◇港則法：施行規則第12条危険物告示引火性液体類

16, その他の情報

参考文献

化学品安全管理データブック 化学工業日報社

製品評価技術基盤機構 GHS分類

化学物質評価研究機構 化学物質ハザードデータ集

化学物質規制・管理実務便覧 新日本法規

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有毒性の評価は、現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。